

# 令和5年度 第1回 大分市総合教育会議

日時：令和5年8月23日（水）13：15～14：00

場所：議会棟 全員協議会室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

(1) 令和5年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について

### 3. 閉 会

令和5年度 第1回総合教育会議

8月23日(水) 13:15~  
議会棟 全員協議会室

市長 教育長

古城(和)委員

上杉委員

古城(一)委員

廣津留委員

岡田委員

教育部  
永田次長

教育監

教育部長

企画部長

子どもすこやか 企画部  
部長 井原審議監

学校教育  
課長

教育総務  
課長

文化財  
課長

スポーツ振興  
課長

企画部  
正池審議監

企画課長

美術振興  
課長

体育保健  
課長

学校施設  
課長

商工労政  
課長

国際課長

文化振興  
課長

人権・同和教育  
課長

教育センター  
所長

社会教育  
課長

市民協働  
推進課長

子育て支援  
課長

保育・幼児  
教育課長

公園緑地  
課長

生活福祉  
課長

子ども入園  
課長

障害福祉  
課長

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

入口

記者席

基本方針1 生きる力をはぐむ学校教育の充実

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標1 次代を担う 人材育成	大分市小中一貫教育推進事業	小中一貫教育の推進
	教科指導マイスター派遣事業 大分っ子基礎学力アップ推進事業 イングリッシュ・アドバイザー派遣事業	確かな学力の定着・向上
	学校図書館活性化事業	豊かな心の育成
	民間プール活用委託事業 歯と口の健康づくり事業	健やかな体の育成
	青少年国際理解推進事業 中学生オースチン市派遣事業 ハーバード大学生との交流事業 外国語指導助手招聘事業	社会の変化への対応
	●特別支援等教育活動サポート事業 ●特別支援教育アドバイザー派遣事業	特別支援教育の充実
★大分市にこここ保育支援事業	幼児教育の充実	

基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標2 学びのセーフティ ネットの構築	★中学生学校給食費無償化事業 ★医療的ケア児に対する移動支援事業 ★大分市奨学資金拡充検討事業 ●市立認定こども園設置事業 ●いじめ・不登校等未然防止対策事業 ●不登校児童生徒支援事業 ■子育て短期支援事業 スクールソーシャルワーカー活用事業 日本語指導等支援事業 特別支援教育メディカルサポート事業 医療的ケア児教育・保育事業	全ての子どもたちの学びの 保障
	★小中学校特別教室等空調設備整備事業 ★明治小学校施設整備事業 ●小中学校施設長寿命化改修事業 ●大在東小学校施設整備事業 ●賀来小中学校施設整備事業	時代の変化に対応した 教育環境の整備
目標3 質の高い学びを 実現する教育 環境の整備	★学校施設使用許可事務委託事業 ●運動部活動総合活性化事業 教職員指導力向上推進事業 スクールサポートスタッフ配置事業 部活動指導員活用事業	教職員の資質能力の 向上及び働き方改革 の推進
	学校評議員・学校運営協議会	地域とともにある学校づくり の推進

基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標4 生涯学習支援体制や 家庭教育支援 の充実	●地区公民館施設整備事業(鶴崎・植田) のつはる西部の楽校管理運営事業 関崎海星館施設整備事業 市民図書館管理運営事業	生涯学習支援体制の 充実
	おおいたナイトスクール事業 子どもの学習支援事業	学習機会や内容の充実
目標5 地域における 子どもの健全育成 の充実	おおいたふれあい学びの広場推進事業	地域活動の充実
	★えひめ・おおいた交流事業 ●児童育成クラブ事業 青少年育成事業(中央補導活動事業)	地域における 子どもの健全育成

基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標6 文化・芸術を 生かしたまちづくり	●新たな知の拠点整備事業 アートを活かしたまちづくり事業 アーティストバンク推進事業 アートレジオン推進事業 のつはる音の森フェスティバル	美術の振興と発信
	●大友氏遺跡保存整備事業 ●DXによる地域文化資源の継承及び 活用推進事業 大分城址公園整備・活用事業 FUNAI文化遺産整備基金積立金 小牧山古墳群基盤整備事業	文化財の 保護・保存・活用

基本方針5 スポーツの振興

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標7 スポーツを通じた 地域活性化	★アーバンフェスタ開催事業 ●大南地区スポーツ施設整備事業 トップアスリート育成・支援事業 スポーツコミッション推進事業	スポーツ振興に関する事 務は、平成29年度に市 長部局に移管

基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

大分市教育大綱 目標	令和5年度事業	大分市教育ビジョン 重点施策
目標8 人権尊重を基盤とした 教育活動の充実	教育指導一般事業(啓発資料の作成等)	学校教育における 人権・同和教育の推進
	教育指導一般事業(人権教育推進協議会等)	社会教育における 人権・同和教育の推進
目標9 人権尊重社会の実現に 向けた人権啓発の推進	人権フェスティバル等事業	人権啓発の推進

# 令和5年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	小中一貫教育の推進	1	大分市小中一貫教育推進事業	「確かな学力の定着・向上」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」をバランスよく推進し、自ら学び自ら考える力などの生きる力を育成する上から、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うとともに、小中学校間の円滑な接続を図る小中一貫教育を推進する。	小中一貫教育実践発表校である4校区(王子中、大東中、城東中、東陽中)が、学校や地域の実情に応じたこれまでの研究内容や成果について、公開研究発表会や小中一貫教育推進フォーラム等を通して、市内全小中学校に還元する。また、各学校が学校や地域の特色を生かした系統的な教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図り、9年間を見通した系統性・連続性のある教育の充実につなげる。	学校教育課
		2	教科指導マスター派遣事業	経験豊富で実績のある退職教職員を「教科指導マスター」として中学校に派遣し、国語科、社会科、数学科、理科、英語科の具体的な授業場面において担当教員へ指導・助言を行う。	国語科4名、社会科3名、数学科4名、理科3名、英語科2名の教科指導マスターを配置する。教科指導マスターは、各学校を年間8～10回程度訪問し、各学校における学力や学習の状況、授業観察の結果等を踏まえ、教科指導の在り方等について指導・助言を行う。	学校教育課
		4	イングリッシュ・アドバイザー派遣事業	英語教育に関する専門的な知識と技能を備えるとともに、教職経験又は外国語指導助手経験が豊富で実績がある退職教員等を「イングリッシュ・アドバイザー」として各小学校及び義務教育学校に派遣し、英語教育に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、児童の学力の定着・向上を図る。	イングリッシュ・アドバイザー(以下、EAとする)3名を小学校及び義務教育学校に派遣し、高学年の各学級において、年間6回程度、指導担当教員とともにチーム・ティーチング形式で授業を実施する。授業後には、研究協議を開催し、小学校学習指導要領、大分市小学校英語教育推進ハンドブック、授業観察の結果等を踏まえた授業改善に向けた指導助言や授業にかかる準備の補助を行う。	学校教育課
	5					
		6	民間プール活用委託事業	近隣に民間プールがあり、学校プールの建築経過年数の古い学校における水泳の授業を、当該民間プールを所有するスポーツクラブやスイミングスクール等に委託する。児童に対して指導員による専門的な指導を実施するとともに、プールの水質管理等に係る教職員の負担軽減を図る。	大分市立金池小学校と大分市立東植田小学校において、近隣の民間プールを活用した水泳授業を実施する。	体育保健課
	7					
		8 (市)	青少年国際理解推進事業	市内小学生が留学生とともに、簡単な英会話を楽しみながら、「なぞ解き」等を行う体験型のイベントを開催する。与えられたミッションを共有しながら活動および交流をする体験を通じて、子どもたちが外国人に親しみをもち、世界や多文化共生に目を向ける機会を創出する。	内 容:外国人と直接触れ合える、「なぞ解き」等をテーマとしたイベント 場 所:アートプラザ2階 アートホール 実施日:令和5年9月9日(土)(3部制) 対 象:小学生1年生～4年生 定 員:各回32名(計96名)	(市) 国際課
	9 (市)					

# 令和5年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	社会の変化への対応	10 (市)	ハーバード大学生との交流事業	一般社団法人Summer in JAPAN(サマーインジャパン 略称SIJ)が主催する英語のサマースクール「サマーインジャパン」では、ハーバード大学生が、世界各国から応募する生徒へ講義などを行っている。大分市とSIJが連携し、ハーバード大学生と市内小・中学生が英語を使って交流する「SWIM」を開催する。 ※SWIMとは、“Summer Workshop for Immersive Multiculturalism”(多文化にどっぷりつかるとる夏のワークショップ)の頭文字をとったもの。	実施日:交流会:8月6日(日) 事前英語講座:7月15日(土) 定員:80名(小学3年生～中学3年生、初級、中級の2コース) ※応募者多数のため当初64名の定員を増員して抽選 実施内容: 今年「サマーインジャパン」は開催されないため、現役ハーバード生の来日等はないが、ハーバード大学卒業の廣津留すみれさんを講師に迎え実施する。 会場:J.COM ホルトホール大分3階302、303会議室 今年目標:英語コミュニケーションを通して語学力・コミュニケーション能力や主体性・積極性を育み、国際社会で活躍する人材を育てる。	(市) 国際課
		11	外国語指導助手招聘事業	小学校における外国語活動や、小中学校における英語科の授業及び国際理解教育の授業において、ALTを活用することにより、児童生徒が外国語やその背景にある文化等に触れ、外国語学習に対する興味・関心・意欲を高め、英語でコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図る。	児童生徒がネイティブスピーカーの話す英語に直接触れる機会をより多く確保し、授業を実際のコミュニケーションの場とするなど指導体制の充実を図るため、ALT31名体制で学校派遣を実施する。なお、令和3年度からはJETプログラムによる招聘に加え、民間事業者を活用し、人材を確保している。	学校教育課
	特別支援教育の充実	12	特別支援等教育活動サポート事業	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒が在籍する学校に補助教員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行う。	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行うため、小中学校等に補助教員(140名)を配置する。 申請のあった学校へ配置できた割合 91.2%(R4)→91.0%(R5)	学校教育課
		13	特別支援教育アドバイザー派遣事業	小中学校及び義務教育学校に「特別支援教育アドバイザー」を派遣し、特別支援学級担任及び通常の学級担任等に対し、特別支援教育に関する指導・助言を行い、教育上特別の支援を必要とする児童生徒への指導・支援の充実及び特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーター等の専門性の向上に努め、校内支援体制の充実を図る。	市内3地区に分け、特別支援教育アドバイザー3名を拠点校(鶴崎小学校、賀来小中学校、碩田学園)に配置し、経験年数の浅い特別支援教育コーディネーターが所属する学校を訪問の上、指導方法や支援方法、教室環境等について指導・助言を行う。	教育センター
	幼児教育の充実	14 (市)	大分市にこにこ保育支援事業	認可外保育施設を利用し、保育の必要がある第2子以降3歳未満児の保育料を令和6年4月から無償化する(上限3万5千円)。	令和5年度は認可外保育施設や保護者に対する広報、対象者の認定および認定作業等に使用するシステム開発をおこないます。 スケジュール(予定) 令和5年10月～12月 認可外保育施設に対する説明会を開催。保護者に対しては施設を通じた案内、市のホームページや市報等での周知を図る。 令和6年1月～ 保護者から認定申請の受付を開始 令和6年4月～ 無償化開始	(市) 子ども入園課

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標2 学びのセーフティネット の構築	全ての子どもの学びの 保障	15	中学生学校給食費無償化事業	大分市立中学校に在籍する中学生の学校給食費を令和5年度3学期の給食提供分から無償化する。	給食費公会計化に伴い導入した徴収管理システムを無償化に対応するよう改修し、大分市立中学校に在籍する中学生の学校給食費を令和5年度3学期の給食提供分から無償化する。	体育保健課
		16 (市)	医療的ケア児に対する移動支援事業	喀痰吸引、酸素療法、人工呼吸器による医療的ケアが必要となるため、通学等が困難な状態にある医療的ケア児に対して、一定の研修を修了した介護職員等が、医療的ケアや見守りを行うことで、保護者の身体的・精神的負担軽減を図る。	令和5年8月以降の実施に向け、医療的ケア児の保護者や担当の相談支援専門員などに、事業の概要を説明し、意見を徴取してきた。今後は、正確な利用者数を把握するため、医療的ケア児が通う特別支援学校等への事業内容の周知に加え、安全な通学を担保できるよう関係機関と連携しながら、医療的ケア児とその保護者の要望や個別の状況を踏まえた移動のための支援を実施する。	(市) 障害福祉課
		17	大分市奨学資金拡充検討事業	人口減少や少子高齢化等の社会課題への対応策の一つとして、修学困難な学生の負担軽減と大分で活躍する人材の育成・確保を目的に、新たな奨学資金事業の導入に向けた調査・検討を行う。	新たな奨学資金事業の検討に向け、高校生・保護者を対象としたWebアンケート調査の実施及び検討委員会を開催する。	学校教育課
		18 (市)	市立認定こども園設置事業	「大分市立幼稚園及び保育所の在り方の方針」に基づき、市立の幼稚園と保育所の一体化を図り、幼児教育と保育を一体的に提供するため、原則として地区公民館区域ごとに市立の幼保連携型認定こども園を設置するもの。 令和3年4月に「のつはる認定こども園」、令和4年4月に「さかのせき認定こども園」、令和5年4月に「かないけ認定こども園」を設置しており、令和6年度は「しんかすがまち認定こども園」の設置を目指す。	令和5年8月～9月 契約事務等 令和5年10月～R6年5月 既存部分改修、増築部分工事(工事期間中は、旧金池保育所を使用) 令和6年6月 備品搬入(7月開園予定)	(市) 保育・幼児教育課
		19	いじめ・不登校等未然防止対策事業	学級集団検査(hyper-QU)を行い、児童生徒や学級の現状及び課題を的確に把握し、いじめ・不登校等の未然防止につながる学級集団作り等に活用する。	学級集団検査(hyper-QU)を、全小学校(第4学年～第6学年)、全中学校(第1学年～第3学年)、義務教育学校(第4学年～第9学年)において年2回実施するとともに、検査結果を個別指導や学級経営等に活用する。	学校教育課
		20	不登校児童生徒支援事業	学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒が教室復帰したり、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒が安心して登校したりできるよう支援や援助をする目的で、中学校及び義務教育学校にスクールライフサポーター(各校1名)を配置する。	生徒指導や教育相談に関する専門的な知識と技能を備えた者をスクールライフサポーターとして12名配置し、学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒や、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒を、支援教室において、社会的自立や教室復帰に向かう支援を行い、必要に応じて入室した児童生徒の学習支援等を行う。	学校教育課
		21 (市)	子育て短期支援事業	子育て短期支援事業は、保護者が病気、出産、育児疲れ等で子どもの世話ができない場合に、子どもを一時的に預かるもので、市内の児童養護施設に対して、事業専用の居室の整備や専従職員の配置に必要な費用の一部を支援することで安定的な提供体制の確保を図る。	・子育て短期支援事業専用居室の整備に要する費用の一部を補助する。 対象施設:児童養護施設 森の木 専用居室6名分 ・事業専従職員の配置に要する費用の一部を支援する。 対象施設:児童養護施設 小百合ホーム	(市) 子育て支援課
		22	スクールソーシャルワーカー活用事業	不登校をはじめ、いじめ・暴力行為・児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを効果的に配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働き掛けるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を図る。	会計年度任用職員のスクールソーシャルワーカー(以下、「SSW」という。)24名を、中央、東部、西部の3エリアに配置し、市立小中学校及び義務教育学校を担当する。また、任期付正規職員の主任SSWをエリアごとに配置する。	教育センター
		23	日本語指導等支援事業	各学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒等の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を行う講師や日本語指導専任指導員、通訳を各学校に派遣する。	日本語の指導が必要な児童生徒や日本語が十分に理解できない保護者に対し、日本語指導を行う講師や通訳者を各学校へ派遣し、支援する。 また、日本語指導専任指導員(日岡小、敷戸小)に各1名配置し、来日直後等の児童生徒が在籍する学校へ出向き、集中的な指導や支援を行う。	学校教育課
		24	特別支援教育メディカルサポート事業	日常的に痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することで児童生徒の安全な学校生活及び保護者の負担軽減等、合理的配慮を図り、児童生徒の教育機会を保障する。	小学校4校8名、中学校2校2名(導尿、喀痰吸引、ヘパリン生食の注入、インスリンポンプの調整) 最大週5日の派遣とし、喀痰吸引は最大8時間、導尿は対象となる児童生徒の状況に応じて1日1回又は1日2回を1回につき30分以内、ヘパリン生食注入は1日1回の利用とする。6事業所と委託契約を結び、看護師を派遣して対応する。	教育センター
25 (市)	医療的ケア児教育・保育事業	日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児童が在籍している特定教育・保育施設に訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することにより、就学前の子どもの安全な集団保育及び教育活動の確保並びに保護者の負担軽減を図り、もって児童福祉の向上及び教育機会の保障に寄与する。	市立保育所2園2名、私立保育所1名、市立認定こども園1名が利用中。 医療的ケアの内容は、経管栄養、導尿、腹膜透析チューブ出口部のガーゼ交換であり、2事業所と委託契約を結び、看護師を派遣して対応している。 経管栄養は1日1回1時間以内、導尿は1日1回30分以内、腹膜透析チューブ出口部のガーゼ交換は1日1回30分以内の利用である。	(市) 保育・幼児教育課		

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標3 質の高い学びを実現する 教育環境の整備	時代の変化に対応した 教育環境の整備	26	小中学校特別教室等空調設備整備事業	児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することを目的に、特別教室(音楽室、図書室除く)及び体育館に空調設備を整備する。	空調設備の整備期間や財政負担の縮減、民間活用の有効性等、効率的かつ効果的な整備手法を検討するため、PFI等導入可能性調査を実施する。	学校施設課
		27	明治小学校施設整備事業	児童数が増加傾向の明治小学校において、校舎の改築やグラウンド整備等、一体的な施設整備を行い、教育環境の向上及び敷地の有効活用を図る。	地質調査業務を実施するとともに、庁内検討委員会において事業手法を決定する。	学校施設課
		28	小中学校施設長寿命化改修事業	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、建物を築80年まで使用するため、小中学校施設の長寿命化改修を行う。	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、次のとおり改修等を実施する。 ・大道小学校(体育館)改修工事 ・植田小学校(体育館)改修工事 ・鶴野小学校(体育館)改修工事 ・判田中学校(体育館)改修工事 ・大在小学校(体育館)設計 ・戸次小学校(体育館)設計 ・田尻小学校(体育館)設計 ・城南中学校(校舎・プール等)事業者決定 ※設計・施工一括発注方式	学校施設課
		29	大在東小学校施設整備事業	大在中学校区の人口増加に伴い、大在小学校及び大在西小学校の学級数の増加が今後も見込まれることから、通学区域を再編し、分離新設校を整備する。敷地内に児童育成クラブ等を含めた一体的な施設整備をデザインビルド方式(設計・施工一括発注)にて実施し、令和6年4月の開校を目指す。	校舎等の建築工事を行う。(令和6年2月完了予定) 建築工事完了後は、備品搬入を行うなど、令和6年4月開校に向けた最終調整を行う。	学校施設課
		30	賀来小中学校施設整備事業	大分市初の小中一貫教育校として平成19年に開校した賀来小中学校について、中学校北校舎の長寿命化改修に併せて、老朽化が進んでいる小学校南北校舎及び中学校南校舎を解体の上、中学校敷地に該当3校舎を一体整備することで、教育環境の向上を図る。	建物の耐力度調査を行うとともに、仮設校舎建設予定地における埋蔵文化財調査を実施する。	学校施設課
	教職員の資質能力の 向上及び働き方改革の 推進	31	学校施設使用許可事務委託事業	「大分市立学校における働き方改革推進計画-第二次-」に基づき、学校における教職員の働き方改革を推進するため、学校施設使用許可事務の一部を学校以外の団体等に委託することで教職員の事務負担軽減を図る。	学校施設を利用する関係団体へ説明を行い、順次業務委託を開始する。 委託校数:10校【令和5年8月時点】	学校施設課
		32	運動部活動総合活性化事業	地域の高度な指導力を持つ人材を運動部活動に活用することにより、生徒の多様なスポーツニーズに応え、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに指導者の資質向上並びに適切な運動部活動の運営に寄与する。また、トップアスリートによる実技講習会を開催し、生徒に運動する楽しさ・喜びを味わわせ生涯スポーツの基礎を培い、競技力の向上につなげる。	運動部活動外部指導者人材バンクを活用し、運動部活動の実施体制の整備を図る。また、登録者に対して研修会を実施し、外部指導者の資質向上を図る。また、同一校において3年以上指導を行っている外部指導者については、土日祝日の部活動における単独指導及び引率を認める。 【令和4年度 外部指導者登録者数:271名】  休日の学校部活動の地域移行について、検討委員会を設立し、部活動の在り方や地域移行のスケジュール等について協議を行う。	体育保健課
		33	教職員指導力向上推進事業	教職員としての使命感や職務遂行のために必要な専門的知識や技能、広く豊かな教養、これらを基盤とする実践的指導力の向上を図るため、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的な教職員研修を企画、運営する。	大分市教職員研修計画に基づき、教職員のキャリアステージに応じた研修を実施するとともに、集合型研修とオンライン型研修の特長を生かした効果的かつ効率的な研修となるよう研修内容等の工夫改善を図る。 また、優れた授業実践動画等をポータルサイト(T-LABO)において配信し、教職員の実践的指導力の向上を図る。	教育センター
		34	スクールサポートスタッフ配置事業	教職員の事務負担を軽減し、子どもと向き合うための時間を確保するため、スクールサポートスタッフを配置する。	教職員の事務負担の軽減のため、授業で使用する学習プリント等の印刷及び配布準備、授業準備及び片付けの補助、各種会議の資料等の印刷及び準備、アンケートの集計等の補助等を行うスクールサポートスタッフを、市内小中・義務教育学校(分校を除く)に81名を配置する。	学校教育課

# 令和5年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標3 質の高い学びを実現する教育環境の整備	地域とともにある学校づくりの推進	35	部活動指導員活用事業	中学校に「部活動指導員」を配置し、同指導員による単独指導と大会等への単独引率を可能とすることにより、部活動の充実、活性化及び教員の部活動における負担軽減を図る。	市内中学校に部活動指導員を配置し、生徒の能力に応じた適切な指導を行うとともに、教員の部活動に係る負担軽減を図る。 【令和4年度 市内中学校17校に30名を配置】	体育保健課
		36	学校評議員・学校運営協議会	各学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を各学校の実情に応じて設置する。	新たに9校に学校運営協議会を設置し、学校運営への支援を行うとともに、未設置校の学校に対しては、今後の積極的な設置について指導する。なお、令和6年度に全校設置(81校)を予定している。 (令和4年度64校→令和5年度73校)	学校教育課
目標4 生涯学習支援体制や家庭教育支援の充実	生涯学習支援体制の充実	37	地区公民館施設整備事業(鶴崎・植田)	「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、地区公民館の長寿命化改修を実施し、施設の利便性の向上及び機能充実を図る。	鶴崎公民館については、既存公民館の集会室と調理室、スロープ周辺の改修工事を実施する。植田公民館については、改修工事に向けた設計業務を行う。	社会教育課
		38	のつはる西部の楽校管理運営事業	のつはる西部の楽校(旧野津原西部小学校)において、自然に囲まれた美しい景観を活かし、合宿や研修、レクリエーション等による利用を通じて、人々の交流や社会教育の推進を図る。	施設の適切な管理運営を行うとともに、利用が想定される各種団体に向けリーフレットを配布するなど施設の周知を図る。	社会教育課
		39	関崎海星館施設整備事業	天文分野に関する学習の場や佐賀間の自然や豊予海峡を臨む景色が堪能できる憩いの場である関崎海星館について、施設の長寿命化及び機能の強化を図る。	・外構工事(4月～9月) ・ネーミングライツ契約締結(6月) ・リニューアルオープン(7月) ・完成記念式典(10月)	社会教育課
		40	市民図書館管理運営事業	市民の読書活動や生涯学習を推進するため、読書環境のさらなる充実と利用促進を図るための事業を展開するとともに、学校、地区公民館、関連部署等との連携による生涯学習支援体制の整備を図る。	図書館の利用機会が少ない高齢者や障がい者、YA世代などに向けた団体貸出や広報活動を強化し、その利用拡大を図る。 また、様々な参加型の事業を展開するとともに来年度の図書館情報システム更新を見据えた図書館ホームページの更新や電子書籍導入の検討を行い、より幅広い層に向けた読書活動の支援や読書環境の整備を推進する。	社会教育課
	学習機会や内容の充実	41	おおいたナイトスクール事業	さまざまな理由により、中学校で十分に学べなかった人や、生涯学習として中学校程度の学習内容を学び直したい人、大分の生活、文化や日本語を学びたい人に対して学習の機会を提供する。	植田公民館、コンパルホール、鶴崎公民館の3会場で実施する。 ○植田公民館(火) 英語(中学2年程度)・国語(中学2年程度) ○コンパルホール(水) ふるさと知ろう科・数学(中学1年程度)・国際科 ○鶴崎公民館(木) 英語(中学1年程度)・国語(中学1年程度)	社会教育課
		42 (市)	子どもの学習支援事業	「生活保護受給世帯」及び「就学援助受給世帯」の中学生を対象に、学習塾にかかる費用の月額1万円(3年生に限り、7・8・12・1月は月1万5千円)を上限として一部助成し、子育て世帯の負担軽減を図り、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもたちに学力を向上するための機会を提供する。	令和4年度助成決定者の利用期間は8月末まで。6月下旬に令和5年度の就学援助決定者に対し、説明及び申請書を配布し、申請を受け付ける(新規申請者は8月より、更新者は9月より利用開始)。また、11月頃に未申請者に対し再度申請書を配布し、丁寧な周知を行い、更なる利用促進につなげる。	(市) 生活福祉課
目標5 地域における子どもの健全育成の充実	地域活動の充実	43	おおいたふれあい学びの広場推進事業	学校を中心とした身近な場所で、地域の指導者や団体等との交流を通じ、体験活動を行う。	地域主体型を29校区で実施し、子どもの体験活動を中核とした事業を実施する。 団体ごとに活動回数に応じた補助金を交付し、活動を支援する。	社会教育課
		44 (市)	えひめ・おおいた交流事業	豊予海峡を挟んだ愛媛県南予地方、大分県中部地域(以下、圏域という)の18自治体で結成した「えひめ・おおいた交流事業実行委員会」の事業の一つとして、圏域の将来を担う小学生を対象に小学生相互交流事業を実施し、農家や古民家等での宿泊、農山漁村地域の伝統的な生活体験、地域の特徴的なスポーツやアクティビティの体験を通じて、地域の人々や同世代との交流を楽しみ、それぞれの土地の魅力を味わってもらうことで、将来にわたり活気のある魅力的な圏域の推進を図るもの。	開催日:令和5年7月29日(土)、7月30日(日) ※1泊2日 場 所:愛媛県八幡浜市、西予市、伊方町 参加人数:愛媛県側 13名、大分県側 27名(大分市からは5名参加) 内 容:地引網体験、農村漁村生活体験民泊、シーカヤック体験	(市) 企画課
	45 (市)	児童育成クラブ事業	就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学校の児童を対象として、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を図る。	児童育成クラブについては、令和6年度開校予定の大在東小学校でも新たに児童育成クラブを開設する予定としており、児童の受入れに関する準備が必要となる。また、休・廃園になった幼稚園舎等を利用することで定員の確保に努める。放課後児童支援コーディネーターの巡回相談や指導員対象の研修会を開催するなど、クラブへの支援を進めることで、質・量の両面からの充実を図る。	(市) 子育て支援課	
	46	青少年育成事業(中央補導活動事業)	大分市青少年補導員が気になる行動への声かけや商業施設からの情報収集を積極的にを行い、子どもの非行防止に努める。	市民補導員による中央補導(月10回)、学校補導員による夜間補導(月4回)を実施するなど、関係機関と連携しながら市民と一体となった見守り活動や環境浄化活動を行う。	社会教育課	



# 令和5年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標6 文化・芸術を生かした まちづくり	美術の振興と発信	47	新たな知の拠点整備事業	「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」(令和3年3月策定)における整備方針に掲げる、磯崎新氏関係資料等を公開・閲覧できる場の拡充、幅広い世代の市民や研究者等が集い学ぶ場の提供、デジタルアーカイブを構築・公開し、資料活用の促進等を踏まえた施設の適切な維持管理を図り、「新たな知の拠点整備概要」(令和5年2月策定)における機能と事業展開の実現を目指す。	「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」及び「新たな知の拠点整備概要」に基づき、「新たな知の拠点整備基本計画」の策定(令和6年度予定)に向けた検討委員会を開催する。また、磯崎新氏からの寄贈された約1万8千冊の書籍について検索用データを作成するなど磯崎新氏関係資料の調査、収集、データ化を進める。	美術振興課
		48 (市)	アートを活かしたまちづくり事業	文化・芸術の持つ創造性を地域活性化と産業振興に活かすとともに、アートの力を利用して地域の魅力づくりや市民の地域を誇る気持ちの醸成、創造的な人材の育成や地域経済の活性化を図る。	3年に一度実施するアートフェスティバルは、次回大阪・関西万博も開催される令和7年度に実施予定であり、これまでの成果を引き継ぎ、次回に向けての準備を段階的に整えるため、パブリックアートの制作と活用を継続していく。また、本市が実施する「クリエイティブ産業育成事業(おおいだデザイン・エイド)」において、既存産業の高付加価値化を推進し、その他、関係課等と連携を図りながら、様々な媒体を用いて普及啓発に努める。	(市) 商工労政課
		49 (市)	アーティストバンク推進事業	本市を拠点に活動する文化・芸術団体や個人のアーティストの活動を支援するため、活動者及び活動・発表の可能な場所の情報をデータベース化し、双方のマッチングを図る。	令和5年度は、専用ウェブサイトの開設や、マッチングモデルイベントの実施、登録やマッチング促進に向けてのプロモーション等を行う。	(市) 文化振興課
		50 (市)	アートレジオン推進事業	人口減少や少子高齢化が進む周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、アートイベントや制作活動等を通して文化・芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流を促進することで、地域活性化につなげる。	①旧小学校を活用したアトリエ利用 令和5年4月現在 旧大志生木小学校6名/旧野津原中部小学校5名 ②周辺地域におけるアートイベント ・アトリエ利用アーティストを講師としたワークショップ 令和5年8月 大南こどもアート学校 開催 令和5年11月 大志生木こどもアート学校 開催 令和6年3月 野津原こどもアート学校 開催 ・地域誘導型展覧会 令和5年9月16日～24日「アートレジオン・コレクション」開催	(市) 文化振興課
		51 (市)	のつはる音の森フェスティバル	年間を通して音楽が溢れ、道行く人が心とむよな「音楽のまち大分」の実現するため「おおいだ夢色音楽プロジェクト」を推進しており、その一環として、のつはる天空広場において、市内中学校吹奏楽部や別府アルゲリッチ音楽祭と連携した若手演奏家の発表の機会を提供することで、次世代の音楽文化の担い手の育成と地域の活性化を図る。	のつはる音の森フェスティバル2023 開催日:9月9日・10日 場 所:のつはる天空広場 出演者:市内中学校・高校吹奏楽部、アルゲリッチ芸術振興財団推薦アーティスト、市内で活動しているアーティスト、県外高校吹奏楽部 など	(市) 文化振興課
	文化財の保護・保存・活用	52	大友氏遺跡保存整備事業	約400年間豊後を支配した、戦国大名大友氏の本拠地である大友氏遺跡を将来にわたり保護、保存するため、大友氏遺跡歴史公園の計画的な史跡指定と公有化を推進し、同時に整備を行っていく。	令和元年度に改訂した「史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)」に基づき、中心建物「大おもて」の立体復元プランの確定作業とその他の建造物の復元方法等について検討する。大友氏館跡では、東外郭の門の位置や館内北東域の構造解明のため発掘調査を進める。また、歴史公園整備のために、唐人町跡について公有化を行う。	文化財課
		53	DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	本市には、多くの有形・無形の文化財、史跡の他、地域の行事や伝統芸能、豊かな自然や景観・まちなみ等の「文化資源」が存在している。 本事業では、これらの貴重な文化資源を次世代へと継承し、観光・教育・産業など、様々な分野へ活用していくことを目的としている。 これにより、市民に対し「本市の歴史文化の魅力の再発見」、「市民の誇りと郷土愛の醸成」を促すとともに、本市の歴史文化の魅力を全国に向けて発信することが期待できる。	6月1日より「大分市デジタルアーカイブ～おおいだの記憶」の一般を公開するとともに、「使い方ガイド」を作成し、イベント等で利活用の周知を図る。また、デジタルアーカイブのさらなる充実を図るため、市内13地域の資料収集と公開を随時進めるとともに、市内の指定文化財の3Dモデルを追加し、公開する。	文化財課
		54 (市)	大分城址公園整備・活用事業	大分城址公園は、府内城の歴史的・文化的資源を活かしながら大分市のシンボルとなる公園である。「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき、取り組みを進めることにより、新たな魅力を有する「歴史文化観光拠点」としての形成を図る。	令和5年度は、昨年度に引き続き文化財に係る文献調査、歴史展示スペース案内業務(※)を行うとともに、演出照明整備(2工区)工事を実施し、事業の推進を図る。 ※園内に設置している歴史展示スペースにおいて、府内城の歴史に関するパネル展示に加え、観光パンフレット等を設置し来訪者を迎える業務。	(市) 公園緑地課
		55	FUNAI文化遺産整備基金積立金	かつて「府内」と呼ばれた大分市中心部は、現在も大友氏関連史跡や豊後府内城などの貴重な文化遺産が存在している。これらの保全と整備、ならびに歴史を活かしたまちづくりの機運醸成に資するために、貴重な文化遺産の整備の一部に寄附を募ることをHPの掲載やチラシの配布、各種イベント時の周知等で図っていく。	次のとおり周知を図り寄附を募る。 ・市内の公民館等の公共施設にチラシとポスターを送付 ・博物館等にはチラシを送付 ・東京大分市人会において周知 ・大友氏遺跡フェスタ、宗麟公まつりや大おもて会等で周知	文化財課
		56	小牧山古墳群基盤整備事業	松岡地区に所在する県指定史跡小牧山古墳群は、自然に恵まれた環境の中に6基の古墳がそのままの状態と保存されており、市民の心身の健康を保つ癒しの場として、また地域の歴史に対する理解を深める学びの場として利用されている。今後は、古墳周囲の樹木を伐採し、周辺自然環境の眺望を良くするとともに、市民が利用しやすい環境整備等を行う。	古墳群への訪問・利用の環境を整えるために、付近の市道に古墳群への案内標識を設置する。自家用車での訪問者のために、駐車場の整備や利用者看板の設置を行う。また、古墳見学の利便性の向上のために、通路の急傾斜部分に階段、休息用のベンチを設置する。	文化財課

# 令和5年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和5年度)	担当課
目標7 スポーツを通じた地域 活性化		57 (市)	アーバンフェスタ開催事業	スポーツ推進における新たな魅力創出として、東京2020オリンピック競技大会で若者を惹きつけたアーバンスポーツの競技人口や裾野の拡大を図ることを目的に、各種アーバンスポーツを体験・体感できるイベントを市内中心部で開催する。	開催日:令和5年10月8日～9日 場 所:お部屋ラボ 祝祭の広場 内 容:スケートボード、BMX、3x3(バスケットボール)、ダンス等	(市) スポーツ振興課
		58 (市)	大南地区スポーツ施設整備事業	平成27年大分市スポーツ推進審議会からの答申や、大南地区振興協議会から継続的な市長要望等を踏まえ、大分市の大南地区にスポーツ施設を整備し、地域で身近に利用できるスポーツ施設の環境を創出することで、大南地区ひいては本市におけるスポーツ実施率の向上や、本市のスポーツ施設配置状況における地域バランスを図る。	造成工事等の実施	(市) スポーツ振興課
		59 (市)	トップアスリート育成・支援事業	【スポーツ振興課・障害福祉課】 選手の競技活動に対する支援を行うことで、本市にゆかりのある選手が国際大会等の舞台で活躍することで、市民のスポーツに対する興味・関心が高まり、本市におけるスポーツ振興や競技力の向上につながる。	【スポーツ振興課】 本市にゆかりがあり、大分県スポーツ協会が強化指定している選手に対し、国際大会等で活躍できるよう支援を行う。申請者14名(令和5年8月10日現在) 【障害福祉課】 申請5名(令和5年7月末見込)	(市) スポーツ振興課 障害福祉課
		60 (市)	スポーツコミッション推進事業	ラグビーワールドカップ2019大分開催及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の国際大会を開催した成果を一過性のものとせず、スポーツ合宿や大型スポーツイベントを誘致することにより、交流人口の拡大、地域経済の活性化、本市の知名度向上、市民のスポーツへの興味関心の喚起及び地域の愛着心の醸成を図る。	【ハンドボール女子日本代表】 (期間)令和5年4月29日～5月7日 27名 (場所)サイクルショップコダマ大洲アリーナ 【ハンガリー、アメリカ水球女子代表チーム】 (期間)令和5年7月8日～7月14日 44名 (場所)大分商業高等学校 屋内プール、豊後企画ワークアウト 【バレーボール堺プレイヤーズ】 (期間)令和5年7月17日～7月22日 25名 (場所)コンパルホール、サイクルショップコダマ大洲アリーナ、豊後企画ワークアウト 【日本体育大学剣道部】 (期間)令和5年8月11日～8月15日 126名 (場所)レゾナック武道スポーツセンター 【ラグビー花園近鉄ライナーズ】 (期間)令和5年10月26日～11月1日 (場所)豊後企画フィールド、豊後企画ワークアウト 【ラグビークリタウオーターガッシュ昭島】 (期間)令和5年11月20日～12月1日 (場所)豊後企画フィールド、豊後企画ワークアウト 【チーム甲斐合同自主トレ】 (期間)令和6年1月 (場所)別大興産スタジアム他 【明治大学競走部】 (期間)令和6年2月 (場所)レゾナックドーム大分周辺 【青山学院大学陸上競技部】 (期間)令和6年3月 (場所)レゾナックドーム大分周辺	(市) スポーツ振興課
目標8 人権尊重を基盤とした 教育活動の充実	学校教育における 人権・同和教育の推進	61	教育指導一般事業 (啓発資料の作成等)	部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、さまざまな人の考えや気持ちを共感的に理解できる力をはぐくむ教育の推進と充実に努める。	人権・同和教育に関する知的理解を深めるため、児童生徒対象及び保護者対象の学習資料をそれぞれ作成する。	人権・同和教育課
	社会教育における 人権・同和教育の推進	62	教育指導一般事業 (人権教育推進協議会等)	人権・同和教育の解決に向け、各地区人権教育(尊重)推進協議会等との連携を強化し、市民の主体的な取組を促す学習機会の提供に努める。	各地区人権教育(尊重)推進協議会と人権啓発DVDや講師の紹介・派遣等による連携を図る中、評議員を対象にした研修会を年2～3回、また地区住民を対象にした人権講演会を年1回、少人数の地区懇談会を各地区の実情に応じた回数実施する。	人権・同和教育課
目標9 人権尊重社会の実現 に向けた人権啓発の推進	人権啓発の推進	63	人権フェスティバル等事業	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、大型商業施設等において啓発活動を行う。地域住民の参加・交流を促し、人権啓発の推進を図る。	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、イオンパークプレイス大分、J.GOMホルトホール大分、お部屋ラボ祝祭の広場、地区公民館及び旭町文化センターにて、啓発活動や講演会等を実施する。	社会教育課